

## 山下ふ頭再開発検討委員会の開催状況について

### 1 開催概要

#### (1) これまでの取組

- 市民の皆様のご意見を反映させた新たな事業計画策定に向けて、令和3年度から4年度にかけて2度にわたり、市民意見募集、市民意見交換会や事業者提案募集を行い、市民意見は10,680件、意見交換会の参加者は延べ393人、事業者提案は18件いただきました。
- それらの結果を踏まえ、まちづくりの方向性や導入機能等を検討するため、5年8月から山下ふ頭再開発検討委員会を開催し、第3回までの開催状況について、6年2月の常任委員会でご報告させていただきました。
- この度、上記以降に検討委員会を2回開催しましたので、状況についてご報告いたします。

#### (2) 開催状況

- |          |   |  |
|----------|---|--|
| 今回<br>報告 | { | 第1回 令和5年 8月28日 現地視察、埠頭の歴史・周辺地区の状況の説明、意見交換等     |
|          |   | 第2回 令和5年11月30日 委員のプレゼンテーション、意見交換等              |
|          |   | 第3回 令和6年 1月12日 委員のプレゼンテーション、意見書説明、意見交換等        |
|          |   | 第4回 令和6年 7月12日 委員のプレゼンテーション、意見書説明、意見交換等        |
|          |   | 第5回 令和6年 8月22日 委員のプレゼンテーション、意見書説明、とりまとめに向けた議論等 |

#### (3) 透明性を確保した委員会運営

市民の皆様のご理解が不可欠なため、傍聴に加えて、インターネットによる配信を行い、各回、視聴した皆様からご意見をいただくなど、適時・適切な情報発信を行い、透明性を確保した運営をしています。

### 2 委員会での主なご意見（第4回及び第5回）

#### (1) 学識者委員

- ・日本文化の強みであるポップカルチャーの集積や、継続的な投資による時代の変化に合わせた開発の視点が重要。
- ・港湾機能の活用、港湾と都市との共生、事業計画策定等の手続きにおける市民参画について検討すべき。
- ・国際コンテナ戦略港湾としての横浜港の位置付けを踏まえ、市街地との結節点を意識した再開発の検討も重要。
- ・世界的に主流となっている、人を呼び込む魅力的な緑をテーマとしたまちづくりや、ウォーターフロントの強みを活かした開発を参考にすべき。
- ・将来の人口減少と定住外国人の増加を見据えた多文化共生の実現や、イノベーションの社会実装を促進する拠点の形成、市民参画の視点が重要。

(2) 地域関係団体委員

- ・市民生活の向上や横浜経済の牽引役となる場所であること、さらには市民や来街者の防災拠点とすることが必要。
- ・将来の海洋人材などの育成に向けて、若い世代への教育的な役割が果たせる開発も考えられる。
- ・周辺地区の交通インフラ整備により、地域の回遊性向上や、交通渋滞の緩和、災害時の避難経路の確保を図るべき。
- ・新たな交通網の拡充、経済効果や雇用創出につながる持続可能な開発、防災拠点機能の確保が重要。

3 委員会を視聴した市民の皆様からの主なご意見

- ・今後の横浜のイメージを確定する重要な案件のため、地域活性・観光・防災を考慮したイメージ戦略を基盤として必要な事業を考えるべき
- ・横浜港の情景を大切にすべく、山下公園から連続する緑の多い空間を大切にしてほしい。
- ・山下ふ頭ならではの特色のある再開発計画を実施することが、市内で競合が起こらず、横浜市としての追加の価値につながる。

【参考】受付意見数：182 名／345 件（令和 5 年 8 月 28 日から令和 6 年 8 月 31 日まで）

4 今後の予定

- 引き続き、検討委員会においてまちづくりの方向性や導入機能等について議論を進め、年内を目途に答申をいただくことを予定しています。
- 答申に基づき、本市にて事業計画(案)を作成し、市民意見募集や意見交換会等を実施したうえで事業計画を策定し、令和 8 年度頃の事業化を目指します。

【参考】横浜市山下ふ頭再開発検討委員会委員名簿（敬称略）  
学識者委員（五十音順）

氏名	分野	現職等
石渡 卓	経営、教育	神奈川大学理事長
今村 俊夫	都市開発	株式会社東急総合研究所取締役会長
内田 裕子	イノベーション、経済、経営	経済ジャーナリスト、イノベディア代表
河野 真理子	国際法、海洋政策	早稲田大学法学学術院教授
北山 恒	都市理論、建築デザイン	建築家、横浜国立大学名誉教授
隈 研吾	建築	建築家、東京大学特別教授・名誉教授
幸田 雅治	住民自治	神奈川大学法学部教授
デービッド アトキンソン	観光	株式会社小西美術工藝社代表取締役社長
平尾 光司	地域経済、イノベーション、ベンチャー	専修大学社会科学研究所研究参与、昭和女子大学名誉理事
村木 美貴	都市計画、脱炭素型都市づくり	千葉大学大学院工学研究院教授
涌井 史郎	造園、都市景観	東京都市大学特別教授

地域関係団体委員

氏名	分野	現職等
高橋 伸昌	まちの活性化を推進している団体	関内・関外地区活性化協議会 会長
藤木 幸夫		横浜港振興協会 会長
坂倉 徹	地域の経済活動を担っている団体	横浜商工会議所 副会頭
宝田 博士		協同組合元町エスエス会 理事長
田留 晏	埠頭で事業を営む事業者の団体	神奈川倉庫協会 会長
藤木 幸太		横浜港運協会 会長